

# えんがわ通信



発行＊一般社団法人パーソナルサポートセンター  
住所／仙台市青葉区二日町6-6 シャンポール青葉2階  
電話／022-399-9662 FAX／022-224-1621  
MAIL／contact@personal-support.org  
WEB／http://www.personal-support.org/

## シニアの知恵・技能生かす

### 「こらぼ」がオープン

青葉区

一般社団法人「パーソナルサポートセンター」(青葉区・略称PSC)はこのほど、シニアと若者ワークセンター「こらぼ」を同日二日町にオープンさせた。

同センターはシニア世代がこれまでに培ってきた経験や技術を、起業や若者の課題解決などに役立ててもらおうのが目的。「リフォーム」「キャンドル」「お墓清掃」の3事業を柱に、就労支援などに取り組む。

そのうち、リフォーム事業には現在、20代から70代の男性3人が参加。一級建築士のアドバイスをもち、市内のリフォーム専門の会社の指導で、4カ月間のトレーニングに励んでいる。キャンドルは指導者の女

性2人が受け入れ準備を進めている。写真下。同センターでは今後、利用者が交流するための

サロンスペースを設置するほか、シニア世代を講師に招いた講演会やセミナーの開催も予定してい



リフォーム専門会社の社員からアドバイスを受ける参加者

野口昌志センター長は「参加者は、目を輝かせて前向きに取り組んでいる。それぞれの希望に合うかたちで(事業を)進め、利用者を増やしていきたい」と話している。センターの名称「こらぼ」は「シニアと若者が



コラボレート(協働)する場」などの意味を込め、名づけられた。利用希望などの問い合わせは、月曜から金曜の午前9時～午後5時に、同センター022(796)9552まで。

PSCが取り組む職業体験の元実習生がいま、岩沼市内のそば屋で、汗を流している。宮城野区に住む30代の男性。実習に向き合う真摯(しんし)な姿勢が買われ、実習が終わると、正社員として採用された。店がオープンして2カ月。店には男性が手掛けるそばを求めて連日、大勢の客が足を運ぶ。

11月下旬の午後、男性は、オープンしたばかりの店の一角で、そば打ちの準備に取り掛かっていた。そば粉に少しずつ水を加え、慣れた手つきでこねる。その動きは、さながら熟練の職人だ。男性は6月、PSCを訪れた。当時は求職中で、「しごと」などについて、担当者や相談を重ねた。飲食店の仕事に就いていた経験から9月上旬、焼き肉店で、実習をすることが決まった。

男性は実習で、懸命に仕事をこなした。「彼ならば、きっと、できるはず」。その姿を見た経営者は「そば屋を新規に開業する。手伝ってくれないか」と男性に声を掛けた。男性は快諾した。開業まで時

## 実習契機に正社員

### クローズアップ

間はなかったが、男性はメニューの開発から、店のレイアウトまで準備に奔走した。開店後は「親方」に登用され、仕込みや食材の確認などのさまざまな仕事を担っている。「彼がいなければ店は成り立たない。実習の段階で、仕事ぶりに驚いた。不満があっても顔に出さずに、やっつけてのける。大したもんですよ」。経営者は話す。男性は言う。「自分から、いろんな人に相談して、行動しなければ、ここで仕事をする事ができなかった。『ここに来ればおいしいものが食べられる』と思ってもらいたいの、この店を有名にしていきたい」。男性は、将来を見ずえる。



### Interview

福祉や介護の世界に興味を持って入ってきてくれる人に、期待しています。

せんだんの館 高齢福祉部長 佐藤和仁 さん

PSCの実習生が職業体験に取り組んだ特別養護老人ホーム「せんだんの館」(青葉区)。東北福祉会が運営する施設の一つで、質の高い福祉サービスを目指しているそうです。同館高齢福祉部長の佐藤和仁さんに、お話を伺いました。

「聞き手は就労支援部 安藤 貴志)」  
◇  
「実習生を受け入れた経緯を教えてください。介護の仕事に興味を持って、福祉の現場での就労を考えている人たちがと一緒に働いたりする

のは、率直にうれしいこととです。そうした人たちに少しでも介護の現場を知ってもらえればと思ひ、実習生を受け入れました。実習を受け入れてみていかがでしたか? 利用者の方とのコミュニケーションや、特別養護老人ホームの現場の雰囲気をつかんでもらえるよう工夫をしました。

「受け入れ先として良かった点などはありますか? 学生さんは、利用者の方と年齢が離れていることなどから、実習でコミュニケーションを円滑に取

### 農業体験記

小松菜や大根、チンゲン菜にブロッコリー、そしてネギ。きょうも冬野菜は、風にも寒さにも負けず大地に根付いています。

無農薬の野菜を育てることは、大変ですが、試行錯誤を繰り返しながら、作っています。早く皆さんに食べてほしい、そういう気持ちで日々励んでいるのです。

### えんがわの輪

津村 悦子さん(64) 青葉区川内

「新たな輪をつくりたい」 仮設住宅内の集会所で、毎週水曜日に小物を作る「手作りの会」をやっています。色合いやデザインなどを工夫しながら、みんなで楽しんでいきます。

先日、活動の輪を広げるきっかけになればと思い「ちっちゃいビジネス開業応援塾」に参加しました。すぐく勉強になりましたし、今後は、インターネットも覚えようと思っています。風邪を引いている暇がないくらい、毎日、楽しみがいっぱいあります。過去にはいろいろなることがありましたが、今は六十の手習いで、第2、第3の人生の出発だと思っています。

これまでの土台をもとに、新しい輪を作っていきたいと思っています。

# TOPICS (1月)

## パーソナルサポートセンター

### 封入手伝い 事前申込制：締切 1/10

「復興定期便」(仙台市からのお知らせ)の封入作業の参加者を募集しています。

■日時：2014年1月22日(水)・23日(木)・24日(金)  
9:15~12:00 / 13:00~15:45

■場所：就労準備支援センター『わあくしよっぷ』

■謝礼：2,000円相当の商品券

※12/28~1/5は申込を受付けておりません

◎お申込み・お問い合わせ：パーソナルサポートセンター  
TEL：022-399-9662、FAX：022-224-1621

## 仙台友の会

### お料理教室 事前申込制：締切 1/10

料理教室を開きます。女性だけでなく、男性の方の参加も大歓迎です。

■日時：2014年1月15日(水) 10:00~13:00

■場所：仙台友の家(仙台市太白区鹿野3丁目23-33)

■定員：20人

■持ち物：エプロン、参加費200円(実費)

### 運動着入れ作り 事前申込制：締切 2/7

来年度、小学校に入学するお子さんをもつ保護者のみなさんを対象に、新学期に備えて、運動着入れを作ります。詳細はお問い合わせください。

■日時：2014年2月15日(土)、3月1日(土) 10:00~14:00

■場所：仙台友の家

■定員：先着10人(1日10人限定・合計20人)

■材料：布地(こちらで用意します※無料)、持参も可

◎お申込み・お問い合わせ：仙台友の会[担当：藤田]  
TEL：022-308-5009 / 090-6688-7073  
※受付時間：火・金の10時~15時

## 仙台市産業振興事業団

### 就職や仕事に関する個別相談 事前申込制：締切 1/16

プロのカウンセラーによる就職や進路・キャリアに関する個別相談です。(就職のあっせんではありません)

■日時：2014年1月23日(木) 13:00~20:00(一人50分)

■場所：AER6階 情報・産業プラザ

■対象：①学生・求職中の方(年齢不問)  
②在職者(30代まで)[定員：20人]

◎申込方法：郵便番号・住所・氏名・年齢・電話番号・学生/求職中/在職中のいずれかを記入し、郵便・FAX・Eメールでお申込みください。締切後に応募者全員に決定通知書をお送りします。

◎お申込み・お問い合わせ：仙台市産業振興事業団  
〒980-6107 仙台市青葉区中央1-3-1 AER7階  
TEL：022-724-1212、FAX：022-715-8205  
Eメール：koyoushien@siip.city.sendai.jp

## のびすく仙台

### 『のびすく仙台 ありがとう祭』 申込不要

開館10周年のお祝いイベントです。スタンプラリーや遊びのコーナー、コンサートなど盛りだくさんです。時間内、自由に参加できます。

■日時：2014年1月12日(日) 10:30~15:00

■場所：のびすく仙台 こどもひろば

### グループ相談『初めての保育園』 1/7~申込開始

保育園生活についてお話をうかがいます。入園前に心配なことや不安なこと聞いてみませんか?

■日時：2014年1月22日(水) 10:00~11:30

■講師：安達 喜美子さん(朝市センター保育園園長)

■場所：のびすく仙台 こどもひろば

■対象：保育園入園を予定している子どもの保護者

■定員：15人(お子さんと一緒に)

### 子育て中の保護者が知っておきたい話 申込受付中

#### 『子ども・子育て支援新制度』ってなに?

新制度についてのミニ勉強会です。

■日時：2014年1月21日(火) 10:30~12:00

■講師：内閣府職員

■場所：のびすく仙台 こどもひろば

■対象：妊婦~小学生を子育て中の保護者[30人(先着順)]

※託児有…生後6ヵ月~未就学児(無料)

※生後6ヵ月未満のお子さんに限り、保護者と一緒に参加できます。

◎お申込み・お問い合わせ：のびすく仙台  
TEL：022-726-6181、FAX：022-214-5071

## えんがわ通信 求人情報

就労支援相談センター「わっくわあく」(PSC就労支援部)と提携する特定非営利活動法人「ワンファミリー仙台」が、求人情報をお届けします。  
※特定非営利活動法人「ワンファミリー仙台」無料職業紹介事業(許可番号04-ム-300010)

### ●正社員 ※寮完備

#### 警備 仙台市内及び近郊

交通誘導警備業務

給 与/日給7,500円~9,000円  
+残業手当・深夜手当 ※賞与あり

勤務時間/シフト制  
(1)8:00~17:00  
(2)21:00~翌6:00  
時間外あり

休日・休暇/本人の希望による  
加入保険/雇用・労災・健康・厚生  
免許・資格/不問

#### 正覚警保株式会社 仙台支社

### ●契約社員 ※研修期間1年(有給)

#### オペレーター業務 柴田郡川崎町

コールセンターオペレーター(宿泊施設・コンサート・保険業務などの電話対応)

給 与/140,000円~200,000円  
+通勤手当(上限有)

勤務時間/9:00~18:00  
休憩時間60分

休日・休暇/土・日・祝日  
加入保険/雇用・労災・健康・厚生  
免許・資格/不問  
※緊急雇用対策募集求人(被災求職者対象)  
※営業ノルマはありません

#### かわさきコールセンター株式会社

### ●正社員

#### 福祉関連 宮城郡七ヶ浜町

デイサービス介護業務全般

給 与/165,000円~220,000円  
+通勤手当(上限有)

勤務時間/(1)~(3)のシフト制  
(1)8:00~17:00、(2)9:00~18:00、  
(3)18:00~翌9:00、休憩時間60分  
※(3)の就業時間には別途休憩時間あり、※時間外あり

休日・休暇/週休二日(シフトによる)  
加入保険/雇用・労災・健康・厚生  
免許・資格/不問(ヘルパー2級あれば尚可)

#### 株式会社 ティケア 茶話本舗 デイサービス 汐見台

### ●パート

#### 調理 仙台市内及び近郊

厨房内での調理業務及び接客を中心とした飲食サービス全般

給 与/時間給700円~800円  
+通勤手当(上限有)

勤務時間/8:30~22:00の間の  
5時間以上、休憩時間60分  
※週所定労働日数3~5日

休日・休暇/シフト制  
加入保険/労災(就労時間により加入保険が異なります)  
免許・資格/不問

#### 株式会社 マハロコーポレーション

### ●契約社員 ※寮完備・寮費無料

#### 土木 岩沼市・福島県内

防潮堤工事作業及び住宅地の除染作業  
※危険地域での作業はありません  
※長期就業可能

給 与/日給8,000円~13,000円  
※業績に応じて賞与あり

勤務時間/8:00~17:00、休憩時間60分  
※勤務地の状況により勤務時間が変わる場合があります

休日・休暇/日・他(月5~6日休み)  
加入保険/雇用・労災・健康・厚生  
※研修期間は保険適用外  
免許・資格/不問

#### 株式会社 和楽

### ●パート

#### 清掃 太白区長町 グランスポール長町

スポーツ施設内の清掃業務

給 与/時間給800円  
+通勤手当(上限有)

勤務時間/7:00~10:00

休日・休暇/シフト制(月の休日10日前後)

加入保険/労災

免許・資格/不問

※青葉区上杉グランスポール上杉でも募集中(お問い合わせください)

#### 株式会社 ビルワーク

求人募集が終了している場合がございますので、あらかじめご了承ください。※ほかに求人があります。

求人に関する問い合わせ ▶ ワンファミリー仙台 求人担当 022-395-6364

就職についてのご相談 ▶ 就労支援相談センター「わっくわあく」022-395-6323

## ちっちゃいビジネス 開業応援塾 開催

起業セミナー「ちっちゃいビジネス開業応援塾」が11月15日、青葉区二丁目町の「わあくしよっぷ」で開かれ、起業のアイデアを持つ男女4人が事業の「夢」について話し合った。

IT関連サービス会社「ゆいネット」(青葉区)の主催。「ゆいネット」が、連携の方法などについて、アイデアを出し合った。構想を発表した参加者の女性は「ぐっとアイデアの幅が広がった。いろいろなヒントも得ることができた」と話した。

## 防災訓練で心構え習得 あすと長町

太白区のアストと長町仮設住宅(太白区)で11月23日、防災訓練が行われ、仮設住宅入居者ら約60人がAED(自動体外式除細動器)を使った心肺蘇生訓練などを行い、万が一の事態に備えた。訓練は、住民の防災意識を



高めようと、同仮設住宅の自治会が主催。仙台市ガス局や太白消防署の協力を受けて開催した。訓練では、ガスマイコンメーターの使用法を確認したほか、AEDを使った心肺蘇生や、救急通報訓練も実施。参加者は「子どもに使う場合、どうするか」など、担当者に積極的に質問を投げかけていた。訓練に参加した50代の男性は「以前AEDを使用しなければいけない場面には遭遇したとき、緊張して、うまく使うことができなかった。こうした訓練は必要だ」と話していた。

## 「えんがわ」のつばやき 活性化の行方に期待

今年の夏、牡鹿半島の蛤浜(はまぐりはま)に出かけた。目的地は築100年の古民家を改装した「はまぐり堂」。震災で亡くなった妻の夢を叶えるべく、元高校教諭の亀山貴一さんが、オープンさせたカフェだ。蛤浜は震災で壊滅的な被害を受けた。かつて9世帯あった民家は3分の1になった。穏やかで笑顔のある場所を再び取り戻そうと、地域住民やボランティアらが「蛤浜再生プロジェクト」を立ち上げ、がれきの撤去や亀山さんの生家の改修に汗を流した。浜に再び活気を取り戻そうと、奔走したプロジェクトのメンバーの努力が実を結び、カフェは震災から2年の節目となったことし3月11日に開店した。山の中を車でひたすら走り、長い階段を降りたところにカフェはあった。お昼どきということもあり、店は大勢の客で賑わいを見せていた。中に入ると、海を眺めながら食事ができるカウンター席、そして和室にはちゃぶ台。浜の暮らしを発信する「漁師の家」をコンセプトにした店ということもあり、くつろげる空間に仕上がっていた。メニューには、鹿肉を使ったカレーなど、地元食材を取り入れたという。開業からわずか半年足らずで、休日には来店者が、1日100人を超える。新たな交流の輪が、いま、蛤浜に生まれている。次のステージへと着実に歩みを進める蛤浜のプロジェクト。来年春には、民宿もオープン予定という。さらなる活性化の行方に期待したい。

## どら焼き作り楽しむ ふれあい喫茶

みやぎ生協主催の「ふれあい喫茶」が11月21日、太白区の八木山南NTT社宅集会所で開かれ、同住宅の入居者らが、どら焼きづくりに取り組んだ。この日、参加者はホットケーキミックスを使って、どら焼きづくりに挑戦。生地を焼く、クリームチーズやバターと一緒にこしあんをほし、みながら、みんなで試食した。参加した70代の女性は「今回は人が少なかったのも、もっと人が増えたらうれしい」と話していた。